

放課後等デイサービス自己評価表

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など |
|---------|---|----|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。 | 6 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・静かに活動するスペースと、身体を動かすスペースに分けることができる。 ・落ち着いて活動する部屋と、元気に活動できる部屋に分けることができている。 ・配置基準を満たした上で、基準の人員以上に配置している。 ・日によって変わるが、決まった曜日で児童が混乱する時に、人員が足りないと思う。 ・普段は個々にサポートするスタッフ、全体を見るスタッフに分けて配置をすることができているが、1人でもパニックが起ると、手が足りないことがある。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切であると思わない。1対1での支援が必要な場合もある。 ・玩具の箱に写真を貼っており、玩具の場所がわかりやすいようになっている。 ・玄関はバリアフリー化され、車イスも移動しやすい。 ・ホワイトボードを用いて、予定を視覚的に見ることができる。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 8 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・特性が重い子、軽い子とそれぞれなので、皆が満足できる活動ができるよう考えている。 ・終了時にスタッフ一同で清掃している。また、床、窓、手すりなどを消毒している。 ・おもちゃなど、定位置を決め、片づけるようにしている。 ・毎日掃除を行っており、お茶をこぼしてしまったりして汚れた場合も、すぐに掃除をしている。 ・児が苦しい表情をしているとき、時間を決めて入室している。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別の部屋（クールダウンの部屋）の提供。 ・別室が用意されている。 ・クールダウンできる部屋がある。 ・子どもがパニックを起こした時や、1人になりたいときに、みらくるロードの部屋で落ち着けるよう促している。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 1 | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 8 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や終了時に、スタッフ一同で話し合っている。 ・子ども達が帰った後に、1日の振り返りを行い、朝礼時に情報の共有を行っている。 ・朝礼時に一同で話し合っている。 ・年1のアンケートを行い、業務改善に繋げている。 ・事業所MTGで意見を交換している。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼で行っている。 ・毎日朝礼を行っている。 ・朝礼、終礼で職員で話し、意見が出た場合は皆で検討している。 |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・ZOOM研修や現場に行く研修で知識を得ている。 ・全施設で研修を行う。 ・社員研修、パート研修を行っている。 ・事業所内で月1でパート研修を行っている。 |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 2 | 6 | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 8 | 0 | |

| | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 1 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・作成途中と聞いている。 ・今年度中に、作成・公表する予定である。 ・支援の共有会議を行い、共通理解のもと個別支援計画を作成している。 |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・作成した計画は、他のスタッフも見れるようになっている。 ・朝礼時に目標の見直しを行い、個別支援計画に沿ったスモールステップの目標設定をしている。 ・Vineland:2を行っている。 ・日々の支援記録も記入して、確認している。 ・朝礼で、その日のような活動を行うか話し合っている。 ・職員全員で話し合いをしている。 ・職員全員でプログラムを考えている。 ・職員間で話し合い、長期休暇の活動内容を決めている。 ・スタッフ全員の意見を求めながら、新しいプログラムを考えている。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子に応じて、集団活動に誘ったり、個々の活動を行っている。 ・朝礼にて、子どもの様子を共有している。 ・毎日朝礼を行い、その日の確認を行っている。 ・終礼、朝礼で行っている。 ・毎日必ず振り返りを行い、記録している。 ・毎日、記録（様子）を記録している。 ・主観的にならないように行っている。 ・半年に1度、モニタリングを行い、個別支援計画を作成している。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期休みの活動は、子ども達とともに活動の準備をしたり、主体的に参加できるよう子ども達が考える機会を作っている。 ・決めることが難しい時には、選択できるように支援をしている。 ・複数の活動から、子ども達が自分で決められるよう提案をしている。（ワークショップ等） |
| | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | 0 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 1 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 1 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | 0 | |
| | 19 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | 0 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | 0 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 8 | 0 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | 1 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 1 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 6 | 1 | |
| | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | 1 | |

| | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参加している。 ・何か相談があった場合は、内容に応じて地域の機関に繋げている。 ・お迎え時に、その日の様子を聞いている。 ・下校の連絡を、スタッフ同士確認しながら行っている。 ・新1年生の利用開始時に、保育園や児童発達支援事業所と、情報共有している。 ・情報提供書を作成し、障害福祉サービス事業所に引継ぎをしている。 ・社員研修として、スーパーバイズの研修を行っている。 ・外遊びに行った際、タイミングが合えば、地域の子どもと関わって遊ぶこともある。 ・管理者が参加している。 ・わからない。 ・ペアトレに参加している。 ・お迎え時に、その日の様子を丁寧に伝えるように心がけている。 ・お迎えの際に、子どもの様子をお伝えしたり、親さんから家での様子をお聞きしている。 ・親子イベントを企画している。 |
| | 27 | 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 2 | |
| | 28 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。 | 7 | 1 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | 1 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 8 | 0 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 7 | 2 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 0 | 7 | |
| | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | 2 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | 0 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 3 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明を行っている。 ・保護者の思いを聞きながら、個別支援計画を作成している。 ・都度、更新時に説明し、同意を得ている。 ・会社として、ステキナイトとして保護者同士、交流できる場を設けている。 ・ステキナイト ・ペアトレ ・何か要望があった際には、すぐに対応しようとしている。 ・祝日、長期休暇がある際は様子をFacebookでお伝えしている。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8 | 0 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 8 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・年2~3回、通信を発行している。 ・Facebook ・通信は2か月に1度、紙でのお渡し。 ・契約時に同意を得ている。 ・PECSを用いたり、意見の疎通がしやすい工夫をしている。 ・会社として、地域の方も参加できる催しを行っている。 ・ステキバリエーションでメダカイベントを行っている。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | 0 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 3 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | 0 | |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 1 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | 0 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 5 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・年2回、研修・県連を行っている。 ・保護者さんと情報共有をし、対応の認識をすり合わせている。 ・契約時に、アレルギーの把握を行っている。 ・医師の指示書に基づく対応の利用者さんは現在いないが、そうなった場合は対応する。 ・作成はしているが、周知していない。 ・日々に出ているヒヤリハット事例を毎月、また毎日共有し、話し合う機会を設けている。 ・朝礼で対応について話し合っ、改善につなげている。 ・毎月、ヒヤリハットをまとめ、職員全員に共有している。 ・委員会があり、委員が研修を行っている。 |
| | 47 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | 0 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 8 | 0 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 8 | 0 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | 0 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 8 | 0 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | 0 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | 0 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | 1 | |